

# 朝日庄内の風

令和7年5月28日 第33号

朝日庄内森林生態系保全センター

## CONTENTS

- 新年度が始まりました！ 職員よりご挨拶 …… 2
- 月山南麓のスキーモービル乗入状況の巡視 …… 4
- 西荒瀬保育園 森林体験活動を実施しました …… 5
- 朝日自然塾 きのこの植菌体験 …… 7
- コラム：イノシシのフィールドサイン …… 8

カタクリの花と入れ替わり見頃を迎えたルリソウの群落  
2025.4.26 鶴岡市 荒倉山（撮影：有本 実）

## 転任の挨拶

三陸北部森林管理署 久慈支署長 十川 尚久



炎天下でのオハコソウの駆除作業

4月1日付けで三陸北部森林管理署 久慈支署に異動になりました。昨年4月に着任して1年での異動になりましたが、関係機関や各団体の皆様には大変お世話になりました。

短い期間ではありましたが、朝日山地森林生態系保護地域の保全活動や森林環境教育などの活動を通じて、自然環境を守り次世代へつなぐことの重要さを感じた1年でした。これからも朝日庄内森林生態系保全センターでの経験を生かして、朝日山地の大切さや魅力を伝えていきたいと思っております。今後とも朝日山地の保全活動等に、ご支援ご協力いただけますようお願いいたします。

## 新年度が始まりました！ 職員よりご挨拶

朝日庄内森林生態系保全センター所長

いわま よしふみ  
岩間 由文



園児たちにクロマツ林の役割を説明

4月の異動により庄内森林管理署から当センターに参りました。山形県の勤務は2回目ですが、以前に当センターの合同パトロールやイベントに参加したこともあり、当時のことが懐かしく思われます。

当センターは平成16年3月に開設され、21年目を迎えます。その間一般会計化に伴う、森林環境保全ふれあいセンターから森林生態系保全センターへの名称及び役割の変更がありました。そして事務所も、長年お世話になった鶴岡市朝日産業振興センターから庄内

森林管理署の庁舎に仮移転し、環境も大きく変わりました。

朝日山地森林生態系保護地域は、雄大な朝日山地の原生的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存などを目的として設定されており、後世に引き継いでいくこととしております。

当センターでは貴重な森林生態系の適切な保全管理、野生鳥獣被害対策などを行ってまいります。地域の皆様のご協力により巡視活動や森林環境教育など進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



足元にも春満開  
カキドオシ



園児たちにクイズ！ この羽の持ち主は？？



望遠鏡を設置するのも3回目になりました



クロマツ探検隊でリスの食痕を説明

ありもと みのる  
生態系管理指導官 **有本 実**

当センターで2回目の春を迎えました、有本と申します。昨年4月に着任して以来、本誌のカメラマン役として朝日山地を中心に庄内地方の自然に入り浸っていましたが、まだまだ全然行き足りません。今年は昨年巡視しきれなかった箇所や異なる季節に巡視したい箇所に足を運び、本誌面上で朝日庄内の生態系の魅力について情報発信していけたらと思います。山中で出くわしましたら、動植物や茸の話題で盛り上がりましょう。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

くどう しゅうや  
主事 **工藤 柊也**

当センター勤務3年目となりました、工藤と申します。当センターでの2年間はあっという間に終わってしまい、1日の大切さを実感しております。当センターでは森林生態系の保全管理、森林環境教育などを行っております。昨年度より良いものを目指して業務に励んでいきたいと思っております。そして、まだまだ勉強するところはたくさんありますので、所長及び生態系管理指導官のご指導の下、学ばせていただきたいと思っております。

今年度もよろしくお願いいたします。

たまがわ かな  
非常勤職員 **玉川 加奈**

本年度より新しく採用されました、非常勤職員の玉川と申します。

学生時代は山形大学農学部で植物の調査をしており、鶴岡をはじめ庄内地方の大きな自然に包まれてきました。卒業後は地元福島で就職しましたが、縁あってまたこの地での生活が始まりました。ようやく山も笑い、山菜採りに勤しめる日々を嬉しく思う今日この頃です。どうぞよろしくお願いいたします。

## 月山南麓のスノーモービル乗入状況の巡視

毎年春分の日前後～ゴールデンウィークにかけて、西川町の志津地区にはスノーモービルの愛好家が訪れます。『自然を守るスノーモビラーの会』が厳しい自主規制ルールである『月山特別ルール』を定めて、自然環境や他の入山者へ最大限の配慮をしながら、月山周辺地域の乗入可能区域でスノーモービルの走行を楽しまれているのです。今年は3月23日に志津温泉でスノーモービルの入山式があり、当センターも参加しました。

式の中で、十川所長より『月山特別ルール』を順守して森林生態系保護地域内への乗入を自粛するよう要請しました。その後スノーモビラーの皆さんで志津温泉街の清掃活動を行ってから、複数台のスノーモービルが隊列を成して入山していきました。

入山式後にスノーモービルの走行跡をたどりながら巡視しましたが、トラックベルトによる樹木の損傷等は確認されず、スノーモビラーの皆さんのマナーの良好さがうかがえました。今後も月山山麓の自然環境の保護と利用の両立が図られるよう、生態系保全の啓発と巡視活動を継続していきます。(有本)



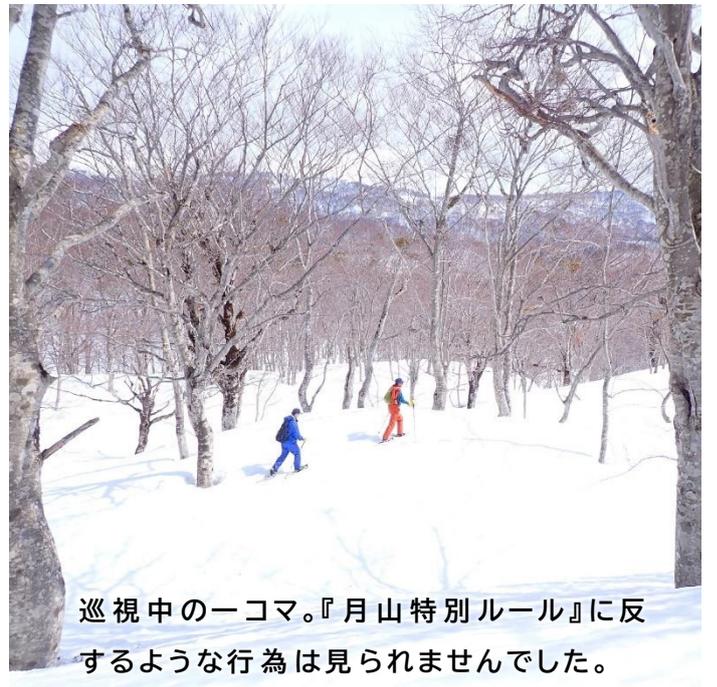
スノーモビラーの皆様へ保護林内への乗入自粛要請



入山前には皆で志津温泉街のゴミ拾い



今年は積雪量が特に多く、巡視スタート地点は道路標識に手が届くほどでした。



巡視中の一コマ。『月山特別ルール』に反するような行為は見られませんでした。

## 西荒瀬保育園 森林体験活動を実施しました

### きのこの駒打ち体験

当センターでは『みどりの保育園推進事業』の一環として、西荒瀬保育園（酒田市）の年長組の園児たちと年3回の森林体験活動を行っています。

第一回目は、『きのこの駒打ち体験』を4月24日（木）に開催しました。当日はあいにくの雨模様だったため室内で駒打ち体験を行いました。まずはセンター非常勤職員の玉川さんがきのこのお話をし、園児たちは興味津々といった様子で



キノコのお話に興味津々！

した。そして、駒の穴あけ体験ではドリルの大きな音に園児たちは大盛り上がりしていました。

昨年度同様にしいたけの楯木15本となめこの楯木5本を打ちました。黙々と駒を打つ園児や、元気いっぱい駒を打つ園児などいろいろな顔を見ることができました。すぐにコツを掴み、あっという間に駒打ちが終了しました。

駒打ちが終了したころには雨が上がり、楯木をセンター職員で運びました。最後に園児たちは「大きくなりますように」とお願いをしてきのこの駒打ち体験は終了しました。たくさん育つことを願っています。



眼差しは真剣！上手に駒打ちできました！



「大きくなりますように」と願いをこめます



歴代の楯木には立派なしいたけ！

## クロマツ探検隊

第二回目は『クロマツ探検隊』と題して、西荒瀬保育園に隣接するクロマツ林（国有林）で5月9日（金）に開催しました。当日は天候に恵まれ、暖かい一日となりました。

出発前には園児たちと「エイエイ、オー！」と元気に声を上げて出発しました。探検中には、クロマツの年輪を数えたり、リスの食痕を見つけたりしました。探検の中盤にはクロマツの高木に作られたサギの営巣コロニーを観察し



年輪の数から樹齢を当てます。この木は100歳！？



望遠鏡をのぞくと・・・何がいたかな？

ました。園児たちは、双眼鏡に苦戦しながらも見る事ができたようでした。そして、望遠鏡を設置して園児たちに見せたときには、「見てみて！鳥がいる！！」と大喜びでお話をしてくださいました。あっという間に探検が終わり、少し疲れた様子もありましたが、最後に万華鏡作りを行って終了しました。筒の中は園児たちのたくさんの思いが詰まっていました。（工藤）



アオサギが見えました！



ひっそりと釣り糸を垂らす  
ウラシマソウ



草花を入れた自慢の万華鏡をお披露目

## 朝日自然塾 きのこの植菌体験

朝日庄内森林生態系保全センターでは、とりまく環境の変化を踏まえ、長年実施してきた朝日自然塾の見直しを模索してきたところです。鶴岡市朝日庁舎産業建設課さんとの交流のなかで、同市が主催する『キノコ植菌体験事業』に当センターも協力することとし、朝日自然塾連絡協議会との共催とさせていただきます。



グループに分かれて植菌します



講師によるデモンストレーション  
ドリルの使用は安全第一、慎重に！



講師の齋藤様より、楢木の管理法やおすすめの調理法などを教えていただきました

きのこ植菌体験事業は4月27日(日)に月山ダムくわだいらさくら公園で開催されました。当日は桜の花が咲く心地良い日差しの下、きのこの専門家の説明の後、39名の参加者がシイタケ、ナメコ、ムキタケ等の植菌体験を行いました。親子で参加されたグループは和気あいあいとした雰囲気でお子さんも交代しながらドリルで楢木に穴を開け、種駒の打込みをしました。

きのこの収穫を通じ、森林の恵みや豊かさを感じていただくきっかけとなればと思います。皆で協力して植菌したきのこの収穫が待ち遠しいですね。(岩間)



慣れた手つきで種駒を打つ方も  
いらっしゃいました(これはナメコ)

## コラム イノシシのフィールドサイン (文・撮影:有本 実)

昨年4月に鶴岡市内に移住して以来、特に海辺の庄内アルプス周辺でイノシシ①のフィールドサインが多いことが気がかりでした。②は今号の表紙の写真を撮影した際に見つけた痕跡で、恐らく画面上方に見えるササ類の筍を掘り起こして食べたのでしょう。ルリソウ群落の一角が被害を受けていました。③～⑤も今年の春に鶴岡市内で撮影したのですが、結構な規模で地面が掘り返されていました。道路脇や芝生など、刈り払って手入れされた場所が特にやられているような印象です。⑥は大山公園から八森山に登る道中で撮影したイノシシの足跡で、カモシカやニホンジカとは異なり主蹄の後ろに小さく副蹄の跡が残るのが特徴です。

⑦と⑧は愛知県のイノシシの高密度地域で撮影したものです。⑦はイノシシの糞で、そら豆大の糞をまとめてギュッと固めた様な外観です。⑧はイノシシが泥浴びをするヌタ場で、池の畔や沢筋などの湿った環境で見られます。周囲に足跡や糞が沢山見つかりますので、すぐにイノシシの仕業だと分るでしょう。

朝日山地ではこれらのイノシシのフィールドサインをまだ見つけてはいませんが、近年の暖冬・少雪の影響等により高標高域に被害が及ぶかもしれません。いよいよ夏山シーズン開幕、今年も心して巡視活動を実施します。



① 2018.1.2 兵庫県芦屋市



② 2025.4.26 荒倉山 油戸コース



③ 2025.4.12 油戸登山口



④ 2025.3.1 大山下池周辺



⑤ 2025.3.21 大山公園



⑥ 2025.3.21 八森山周辺



⑦ 2016.12.29 愛知県瀬戸市



⑧ 2019.12.28 愛知県瀬戸市



発行: 林野庁 東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0015 山形県鶴岡市末広町 23-37 TEL: 0235-26-1841

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/>

